

令和3年度(2021年度)

管理事業名	コミュニティ施設事業			総合計画の体系	大綱 1 人権・市民自治 政策 2 市民自治によるまちづくり 施策 3 コミュニティ活動への支援
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費 (目) 12 地区市民ホール費
部局名	市民部	予算執行所属	市民自治推進室		
予算大事業名	コミュニティ施設事業 上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費(項)総務管理費(目)地域振興費 コミュニティ施設事業 (款)総務費(項)総務管理費(目)市民センター コミュニティ施設事業 (款)総務費(項)総務管理費(目)山田ふれあい文化センター費 コミュニティ施設事業 (款)総務費(項)総務管理費(目)コミュニティセンター費 コミュニティ施設事業				
事業の目的と概要	コミュニティ施設の管理運営により、福祉、環境、文化などの様々な分野の市民活動を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。 ・市民ホール管理事業(地域住民で組織された市民ホール運営委員会の指定管理による津雲台市民ホールほか7館の運営) ・地区集会所管理事業(地域住民で組織された地区集会所運営委員会への管理運営業務委託による岸二地区集会所及び北山田地区集会所の運営) ・竹見台多目的施設管理事業(地域住民で組織された竹見台多目的施設運営委員会への管理運営業務委託による竹見台多目的施設の運営) ・市民センター管理事業(民間事業者の指定管理による岸部・豊一・千里丘市民センターの運営及びPFI事業等による千里市民センターの運営) ・山田ふれあい文化センター管理事業(民間事業者の指定管理による山田ふれあい文化センターの運営) ・コミュニティセンター管理事業(地域住民で組織された団体の指定管理等による内本町・亥の子谷・千一・千里山コミュニティセンターの運営) ・コミュニティ協議会助成事業(各コミュニティセンター指定管理者が実施する自主事業への助成金の交付)				

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
自主事業の実施件数	件	1,711	545	1,438	各施設指定管理者による講座・イベント等の自主事業実施件数
利用者満足度	%	49.4	57.2	56.3	施設利用に関するアンケートにおいて「満足」と答えた施設利用者の割合
成果の説明	令和3年度の自主事業の実施件数は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設の臨時休館及び自主事業の自粛の影響は受けたものの、感染防止対策を行いながら実施可能な自主事業の開催を行ったことで令和2年度から893件増加しました。しかし、同感染症拡大防止対策の要請等による施設の利用条件の制約が継続されていたため令和元年度の実施件数には到達していません。 令和3年度の利用者満足度については、利用者アンケートで抽出された意見を速やかに施設の管理運営に反映することにより、令和2年度から引き続き同程度の利用者満足度を維持しています。特に施設の清潔さ及び職員の対応についての満足度が高くなっています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	54,237	32,795	38,632	5,837
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	150	150
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	11,825	13,143	10,747	△2,396
経常収入 小計(a)	66,062	45,938	49,529	3,591
給与関係費	76,645	68,048	62,888	△5,160
物件費	372,345	359,657	369,847	10,189
維持補修費	25,293	39,125	71,071	31,947
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	33,069	43,525	41,367	△2,157
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	144,305	150,482	151,135	653
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	6,588	5,259	4,346	△912
退職手当引当金繰入額	△5,146	△6,338	△1,660	4,677
支払利息	8,416	7,420	6,716	△704
その他	-	-	4,236	4,236
経常費用 小計(b)	661,514	667,178	709,946	42,769
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△595,452	△621,239	△660,418	△39,178
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△595,452	△621,239	△660,418	△39,178
一般財源充当額	650,330	559,455	578,876	19,421
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	54,878	△61,784	△81,542	△19,757

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
その他(経常収入)	デイサービス負担金9,084千円ほか
物件費	千里市民センターサービス購入料27,627千円ほか
維持補修費	吹田市立亥の子谷コミュニティセンター外壁改修工事33,034千円ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	62,958	49,042	49,529	487
行政サービス活動支出	528,740	529,376	560,979	31,603
行政サービス活動収支差額	△465,782	△480,334	△511,450	△31,116
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	101,846	14,213	49,803	35,590
投資活動収支差額	△101,846	△14,213	△49,803	△35,590
財務活動収入	-	-	47,500	47,500
財務活動支出	82,702	64,908	65,122	215
財務活動収支差額	△82,702	△64,908	△17,622	47,285
収支差額合計	△650,330	△559,455	△578,876	△19,421
一般財源充当額	650,330	559,455	578,876	19,421
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(財務活動収入)建設地方債47,500千円 (投資活動支出)内本町コミュニティセンター空調設備改修工事49,803千円ほか
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	令和元年度	747,634 人	885 円	コミュニティ施設1館あたり、利用者1人につき2,015円のコストがかかっています。
	令和2年度	234,575 人	2,844 円	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設の臨時休館日数が令和2年度より減少し、利用者数が増加したことにより、利用者1人あたりのコストが増加しました。
	令和3年度	352,392 人	2,015 円	利用者数が増加したことにより、利用者1人あたりのコストが増加しました。
開館日1日あたりのコスト	令和元年度	5,720 日	115,649 円	コミュニティ施設1館あたり、開館1日につき135,048円のコストがかかっています。
	令和2年度	3,824 日	174,471 円	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設の臨時休館日数が令和2年度より減少したことにより、開館1日あたりのコストが増加しました。
	令和3年度	5,257 日	135,048 円	より、開館1日あたりのコストが増加しました。

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	70,381	69,685	△697
未収金	-	-	-	地方債	40,497	40,713	216
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	5,259	4,346	△912
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	24,625	24,625	-
有形固定資産	7,104,931	6,999,623	△105,308	固定負債	559,139	535,810	△23,329
土地	3,906,919	3,906,919	-	地方債	261,965	268,752	6,787
建物・工作物	3,193,776	3,092,704	△101,072	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	50,920	45,429	△5,491
建設仮勘定	4,236	-	△4,236	リース債務	-	-	-
無形固定資産	1,783	1,754	△29	その他固定負債	246,255	221,629	△24,626
固定資産	-	-	-	負債の部合計	629,520	605,495	△24,026
有形固定資産	-	-	-	純資産	6,479,388	6,397,847	△81,542
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	2,195	1,965	△230				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	7,108,909	7,003,341	△105,568	負債及び純資産の部合計	7,108,909	7,003,341	△105,568

Ⅲ 財務構造分析

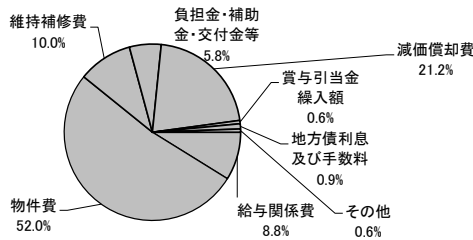
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事日数	特別職非常勤 年間従事日数	合計(千円)
事業従事人数	7.83 人	435 日	2 日	65,574
給与関係費等	59,727 千円	5,780 千円	67 千円	
内、時間外勤務手当	1,114 千円			

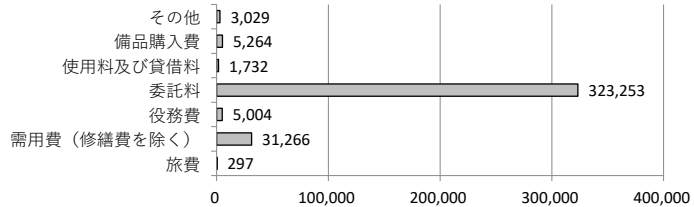
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	津雲台市民ホールほか18館の減価償却による101,072千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市津雲台市民ホールほか19館
取得年月日	昭和51年(1976年)4月(津雲台市民ホール)ほか
建物・工作物の取得価額	6,369,072 千円
建物・工作物の減価償却累計額	3,276,368 千円
利用料金収入	38,632 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	
施設維持補修費比率	0.4	0.6	1.1	0.5
施設老朽化比率	47.1	49.5	51.4	1.9
受益者負担比率	8.2	4.9	5.4	0.5
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	91.2	91.9	85.6	△6.3
経常費用対公共資産比率	10.5	10.6	11.1	0.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、感染防止対策を講じながら可能な限り開館したことで経常収入の使用料及び手数料が令和2年度から5,837千円増となっています。経常費用については、コストの52.0%を物件費が占めており、物件費のうち、87.4%が各施設の管理運営に係る委託料となっています。経常費用に占める維持補修費の割合が10.0%と、前年度の5.8%から4.2%上昇しているのは、令和3年度に亥の子谷コミュニティセンター外壁改修工事33,034千円ほか2件の大規模な工事を実施したことによるものです。令和3年度に内本町コミュニティセンター空調設備改修工事を実施したことにより、同施設の老朽化比率が前年度から1.7%低下し、63.9%となりましたが、その他の施設では0.4%から4.5%上昇していたため、コミュニティ施設全体としては前年度から1.9%上昇し、51.4%となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、感染防止対策を講じながら可能な限り開館したことで、経常収入としての施設の使用料収入は増加し、経常費用については、吹田市立亥の子谷コミュニティセンター外壁改修工事による維持補修費の増加等により、前年度から増加しています。特定財源としての使用料収入は増加したものの、固定費としての施設管理経費のほか、感染症対策としての臨時経費の支出が引き続き見込まれるため、持続可能な施設運営に向け、施設の計画的な維持補修及び施設設備の計画更新により、ランニングコストの縮減に努めるとともに、利用者アンケートを踏まえた施設運営や各施設における自主事業の一層の活性化を支援し、施設利用者数の増加を図ることで、利用者1人あたりにかかるコストを縮減していくことが必要であると考えています。